



TOSHIBA
Leading Innovation >>>

2013年1月24日

株式会社 東芝
ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

コンバインドサイクル発電システム分野における戦略的提携関係構築について
— 両社の協力関係をグローバルに拡大 —

本日、株式会社東芝（以下、東芝）と米国ゼネラル・エレクトリック・カンパニー（以下、GE）は、コンバインドサイクル発電システム^注（以下、コンバインドサイクル）分野での戦略的提携関係の構築に関する覚書を締結し、これまで協力関係を結んできた日本・アジア地域にとどまらず、グローバル市場で販売協力を行っていくことに合意しました。これを受け両社は、コンバインドサイクルの販売戦略の立案、次世代コンバインドサイクルや蒸気タービン発電機に関する技術検討を行う合弁会社設立のための協議を開始します。

シェールガスへの注目が高まる米国や、東日本大震災以降の国内市場、及び経済成長の著しい新興国市場などを中心に、火力発電システムの需要が高まり、特に、従来型の火力発電システムに比べエネルギー効率に優れ、CO₂排出量の少ないコンバインドサイクルの需要が拡大しています。このような中、GEは、世界最新鋭のガスタービンを製品ラインナップとして保有し、GEと東芝は最新鋭高効率蒸気タービン発電機などのコンバインドサイクルの中核機器を有しています。加えて、東芝はプラント補機を含めた性能最適化、起動特性に優れた運転制御技術など、トータルエンジニアリング力にも強みを持っています。今回の提携関係構築は、これら両社の強みによる補完関係・シナジー効果の創出により、グローバルにコンバインドサイクル分野での事業展開を図ることを目的としたものです。

東芝とGEは、1982年からコンバインドサイクル分野で協力関係にあり、日本国内及びアジア地域において、GEのガスタービンと東芝の蒸気タービン発電機を組み合わせたコンバインドサイクルの販売活動を展開しております。GEが周波数60Hz（ヘルツ）の地域向けに開発した新型ガスタービン「7F7」と東芝製最新鋭蒸気タービン・発電機を用いて、昨年、東芝は主契約者としてプラント熱効率で世界最高効率の62%（低位発熱量ベース）を実現した発電システムを中部電力株式会社西名古屋火力発電所向けに受注しております。今回の提携関係構築により、両社の連携をさらに強化し、高効率なコンバインドサイクルをグローバルに提案していくことで、両社の事業拡大を図っていきます。

注：コンバインドサイクル発電システムとは、2種類以上の発電設備を組み合わせた発電システム。ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせるガスタービンコンバインドサイクル発電システムが主流で、燃焼ガスによるガスタービンでの発電に加え、ガスタービンからの排出ガスで蒸気を発生させて蒸気タービンによる発電も行う。

以 上